

千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について（報告）

1 目的

第7期千葉市障害福祉計画（令和6年度～令和8年度）に成果目標を設定して、精神障害者が地域の一員として安心して、自分らしい暮らしを送れるよう、地域の課題を共有化した上で、精神科病院・事業所・行政等が連携し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指している。

2 主な内容や実績など

（1）「協議の場」として、地域包括ケアシステム構築推進連携会議の開催

- ・ 構成員 精神科病院の地域移行に関わる職員、地域の事業者、行政機関等
- ・ 協議事項 精神科病院における長期入院者の地域移行プログラム内容等の検討、事業実施状況の把握、事業実施後の評価。
- ・ 分科会 実践を目的とした、3つの分科会（通称：進め隊・広め隊・深め隊）を連携会議のもとに設置し、積極的な活動を実施している。

3つの隊の主な活動内容

①進め隊：地域移行支援・地域定着支援の地域での展開

- 活動内容 ○構築推進サポーターを活用した地域移行支援の展開
○地域移行支援、地域定着支援に関する地域課題の検討や調査・分析

②広め隊：地域住民等への広報啓発活動

- 活動内容 ○市民向け啓発事業、若年層向け啓発

③深め隊：ピアサポーターの育成や活用

- 活動内容 ○当事者による体験談の発表

<連携会議・分科会の開催状況>

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
連携会議開催数	3回	3回	3回
分科会開催回数	29回	28回	25回

※連携会議については、3回中2回目は書面にて開催。

（２）入院中の精神障害者の地域移行に係るプログラムの実施【進め隊】

主に入院期間１年以上の長期入院患者の地域移行を促進し、併せて医療機関や各事業所等の地域移行支援実践力の育成や向上を目指し、病院内の医師、看護師、精神保健福祉士と、相談支援専門員や介護支援専門員、社会福祉士などの地域の関係者がチームを組み、地域移行に向け以下の相談・支援プログラムを実施する。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
体験談プログラム	OJT：０事業所受講	OJT：２事業所受講	OJT：２事業所受講
日中活動（事業所） 体験プログラム	OJT回数：０回 新規ケース：０人	OJT回数：延 13 回 新規ケース：２人	OJT回数：延 18 回 新規ケース：０人
生活訓練（宿泊） 体験プログラム	退院者数：０人 退院目途：０人	退院者数：１人 退院目途：０人	退院者数：１人 支援中断：１人

（３）精神障害者の地域移行支援に携わる職員等への研修の実施【進め隊】

令和６年度に医療機関や地域事業所を対象とした交流会を実施。交流会を行った結果、地域事業所と病院の関係性の希薄さを原因とした、対象者の状態変化等の情報共有不足、対応遅延、退院後のサービス基盤の手配の難しさ等が起きていることを把握した。

引き続き、相談支援事業所と病院の相談員による「顔の見える関係性」を構築するため交流会を開催する。

	令和６年度	令和７年度
回数	２回（３９人参加）	３回（９９人参加）
内容	精神科病院相談員と地域事業所の関係性の構築	精神科病院相談員と地域事業所の関係性の構築
対象者	精神科病院相談員、相談支援事業所	精神科病院相談員、相談支援事業所、グループホーム

＜全体研修会＞

分科会活動の実践を通じた振り返りと、医療機関や地域の事業所等関係者への情報発信を目的として開催する。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
回数	１回（２０人）	１回（２０人）	１回（１５人）
内容	・分科会活動報告 ・広域アドバイザー総評	・分科会活動報告 ・連携会議コーディネーター総評	・分科会活動報告 ・連携会議コーディネーター総評
対象者	地域移行関係職員	地域移行関係職員	地域移行関係職員

(4) ピアサポーターの活用に係る事業の実施【深め隊】

精神障害者の理解を深めるため、ピアサポーターを活用し、病院や事業所、市民や学生等を対象としたセミナー等を行う。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	3回（221人）	5回（246人）	4回（123人）
対象者	学生、関係機関	学生、関係機関	学生、関係機関

(5) 地域への広報・普及啓発活動の実施【広め隊】

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしを送れるよう、環境整備を図る観点から、当事者や地域住民への広報啓発活動に取り組む。若年層向けは市内の大学等と協力しながら実施している。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域住民向け	6回（232人）	4回（104人）	—
内容	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	—
若年層向け	3回（105人） （大学生）	4回（163人） （大学生等）	6回（182人） （大学生等）
内容	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話
一般市民向け	—	1回（24人）	1回（26人）
内容	—	福祉サービスの講演及び個別相談会	各種複数サービスの個別相談会

(6) 心のサポーター養成事業

心のサポーターとは、「メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、地域や職域でメンタルの問題を抱える人や家族等に対して傾聴を中心とした支援ができる人」をいう。地域で養成されることで普及啓発への寄与、メンタル不調等の予防、早期介入につながることを期待されている。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）が国からの委託を受けて事業を推進しており、令和6年度からの10年間で100万人の心のサポーターを養成することを目標に掲げている。

	令和6年度	令和7年度
開催回数	1回	4回
対象	庁内・関係機関	庁内（関係機関職員）・学生
認定証交付者数	55人	206人